

【生徒アンケートの分析】

○全日制生徒について

- ・肯定的評価の高い項目（上位3項目）
 - 設問項目 1 1 「学校の施設・設備の安全点検は適切に行われている」（92.9%）
 - 設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、人権意識は向上している」（90.9%）
 - 設問項目 7 「図書館活動が充実し、リクエストカードを活用するなど本に親しむ環境を整えている。」（87.2%）
- ・肯定的評価の低い項目（下位3項目）
 - 設問項目 1 「能登川高校では特色ある学校づくりが行われている」（70.7%）
 - 設問項目 4 「学校全体でいじめを許さない雰囲気づくりに努めている。」（75.7%）
 - 設問項目 2 「授業や補修、または課題学習などで学習内容を理解定着する工夫がなされている。」（78.8%）

○定時制生徒について

- ・肯定的評価の高い項目（上位3項目）
 - 設問項目 1 1 「学校の施設・設備の安全点検は適切に行われている。」（91.4%）
 - 設問項目 1 0 「清掃活動がしっかりと行われ、学校は美しく保たれている。」（79.1%）
 - 設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、人権意識は向上している」（78.3%）
- ・肯定的評価の低い項目（下位3項目）
 - 設問項目 3 「あいさつ運動、服装指導など、生活指導が適切に行われている。」（51.8%）
 - 設問項目 4 「学校全体でいじめを許さない雰囲気づくりに努めている。」（64.0%）
 - 設問項目 1 「能登川高校では特色ある学校づくりが行われている」（65.4%）

分析と改善 全定とも肯定的評価が高かった、設問項目 1 1 「学校の施設・設備の安全点検は適切に行われている。」は本校の校舎が新しく使いやすいこと、普段の教室の施錠やストーブの管理も適切に行われていることが関係していると思われる。また、設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、人権意識は向上している」という、人権教育に関する評価も高い。今後も継続して人権教育の推進に努めたい。

また、全日制では、設問項目 1 2 「学校と保護者の連携が適切に行われている」の肯定的評価が 84.6%であったが、これは昨年度より 11.6%上昇しており、改善されていると評価できる。

一方、全定通じて、肯定的評価が低かったものは、設問項目 4 「学校全体でいじめを許さない雰囲気づくりに努めている。」である。これは、「いじめ」に対する生徒の関心の高さの現れであり、本校における重要な課題である。これは、人権教育の推進の評価と相反するものでないかとらえている。日常の組織的な取り組みを大切にしていきたい。

【保護者アンケートの分析】

○全日制保護者について

- ・肯定的評価の高い項目（上位3項目）
 - 設問項目 1 0 「学校に行った時、教室や廊下は美しく整っていた」（98.2%）
 - 設問項目 1 1 「学校に行った時や電話をかけた時の職員の対応は丁寧だった」（93.3%）
 - 設問項目 4 「子どもは、いじめられることなく、安心して登校している」（91.0%）
- ・肯定的評価の低い項目（下位3項目）
 - 設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、子どもたちの人権意識は向上している」（80.0%）
 - 設問項目 2 「授業や補習、または課題学習などで学習内容を理解定着する工夫がなされている」（81.9%）
 - 設問項目 7 「図書館活動が充実し、リクエストカードを活用するなど本に親しむ環境を整えている」（81.5%）

○定時制保護者について

- ・肯定的評価の高い項目（上位3項目）
 - 設問項目 1 0 「学校に行った時、教室や廊下は美しく整っていた」（93.5%）
 - 設問項目 1 1 「学校に行った時や電話をかけた時の職員の対応は丁寧だった」（93.3%）
 - 設問項目 4 「子どもは、いじめられることなく、安心して登校している」（87.5%）

・肯定的評価の低い項目（下位3項目）

設問項目 3「あいさつ運動、服装指導など、生活指導が適切に行われている」（61.3%）

設問項目 2「授業や補習、または課題学習などで学習内容を理解定着する工夫がなされている」（71.0%）

設問項目 5「講演会や保護者懇談会、各種通信などにより進路情報が保護者にも提供されている」（73.2%）

分析と改善 肯定的評価の高い項目については、全定とも昨年度の項目と一致しており、傾向に変化はない。設問項目

1「能登川高校では特色ある学校づくりが行われ子どもは充実した学校生活を送っている」は昨年度から全日制12.3%、定時制19.3%上昇している。定時制では、設問項目4「子どもは、いじめられることなく、安心して登校している」が昨年度から18.3%上昇し、子どもが自分の子どもがいじめを心配せず安心して登校できていると感じているのではないかと。一方で定時制では設問項目3「あいさつ運動、服装指導など、生活指導が適切に行われている」が14.7%低下している。これは、今年度の定時制における服装や頭髮の指導を柔軟に扱い、まず生徒の生活習慣の確立や特別支援といった本質的なところを重視して生徒指導を行うようにしたためととらえている。

また、設問項目2「授業や補習、または課題学習などで学習内容を理解定着する工夫がなされている」は全定とも低い。しかし昨年度と比較して全日制では7.0%、定時制では13.8%上昇している。

このことから課題があるが、現在の取り組みの方向性が間違っているのではなく、今後も丁寧につけ、授業改善を図り、学習内容の理解定着が重要ととらえている。